

I 令和6年度 三原市立須波小学校教育研究について

1 教育研究のテーマ

児童が「主体的な学び」を実現する授業づくり
ー深い教材研究に基づく「授業ファシリテート」を通してー

2 主題設定の理由

(1) 本校の目指す児童像と育成したい資質・能力

本校では、児童の実態調査をもとに児童の課題を整理し、目指す児童像について検討し、設定した。

〈本校の目指す児童像〉

- 課題を発見し、解決する子ども
- 伝え合い、認め合い、協力し合う子ども
- 意欲をもって、行動する子ども
- 自分を、ふりかえり、生かす子ども

そして、本校の目指す児童像と新学習指導要領に示された資質・能力の3つの柱を照らし合わせ、本校で育成したい資質・能力を設定した。

〈本校で育成したい資質・能力〉

知識・技能 (知識及び技能)

各教科等に関する個別の知識や技能などであり、身体的技能や芸術表現のための技能等も含む。

A 課題発見・解決能力 (思考力、判断力、表現力等)

明らかにすべきこと、知りたいこと、改善すべきこと、達成したいことなど、自分や自分が属する集団にとっての課題や問題を発見し、その解決や目標達成をなすとげる力。

B コミュニケーション能力 (思考力、判断力、表現力等)

自分の考えや主張、調べたことなどを分かりやすく、正しく伝える力。
また、相手の話を聞いて、相手の伝えたいことを理解する力。

C 主体性 (学びに向かう力、人間性等)

自分の考えや判断で行動しようとする態度。

D 自己理解 (学びに向かう力、人間性等)

自分が考えていることや理解の程度、感じていることなどを自分自身で感じ取り、それに応じて思考や学び、行動などをより良い方向にコントロールする力。

(2) これまでの本校での取組と今年度の方向性

本校では、小中連携の一環として、資質・能力を統一することで、より学習効果が上がると考えた。そこで、本校で育てたい資質・能力を第四中学校とそろえて、「課題発見・解決能力」（思考力、判断力、表現力等）、「コミュニケーション能力」（思考力、判断力、表現力等）、「主体性」（学びに向かう力、人間性等）、「自己理解」（学びに向かう力、人間性等）に設定し直した。

【児童の実態】

令和5年度4月に行ったNRTの結果と12月に行った標準学力調査の結果は以下の通りである。

【令和5年度 NRTの結果より】

	国語（校内平均偏差値）	算数（校内平均偏差値）	理科（校内平均偏差値）
2年	46.8	48.0	
3年	52.7	52.8	
4年	58.8	55.3	54.7
5年	55.6	59.2	58.0
6年	51.0	49.5	52.8
全体	52.8	52.4	54.6

【令和5年度 標準学力調査の結果より】

	国語		算数	
	校内平均	全国平均	校内平均	全国平均
1年	74.5	74.8	77.1	78.2
2年	75.0	79.3	69.1	73.1
3年	78.9	68.4	77.8	69.9
4年	74.4	64.2	67.7	64.8
5年	89.2	69.9	77.4	58.3
6年	76.2	66.6	71.9	73.8
全体	78.0	70.5	73.5	69.6

どの学年も学力に課題のある児童がおり、特に算数科に課題がある。

また、単元末テストの目標平均点（低学年90点、中学年85点、高学年80点）に対して達成児童の割合を70%以上とする目標に対しての児童の割合は以下のとおりである。

- ・国語科・・・72%（達成度102%）
- ・算数科・・・63%（達成度90%）

算数科においては、特に「思考力・判断力・表現力」の定着に課題がある。そこで、今年度は「思考力・判断力・表現力」を育てる授業づくりについて研究を進める。

ファシリテーターとして

児童の「主体的な学び」を実現するため、ファシリテーターとしての教師の役割を以下のように整理した。

ファシリテーター … 子ども同士の学び合いを支援し、推進する裏方のリーダー。
（三原市教育委員会）

教師のファシリテーターとしての役割（三原市教育委員会）

- 1 目標の共有、協働意欲の醸成（価値ある問いをもたせる）
- 2 参加者全員が意見を出しやすい場の設定と傾聴
- 3 対話を深めるための発問
（あいまいさを解消する発問・気づきを引き出す発問）
- 4 合意形成のための対立意見等の取り上げ

*醸成とは、ある状態や気運を徐々に作り出すこと。

*傾聴とは、相手の話したいことに対して深く丁寧に耳を傾け、相手に肯定的な関心を寄せ内容の真意をはっきりとさせながら、共感的理解を示すコミュニケーションの技法。

*合意形成とは、多様な利害関係者の意見の一致を図ること。特に議論などを通じて、関係者の根底にある多様な価値を顕在化させ、意思決定において相互の意見の一致を図る過程のことをいう。コンセンサスともいう。合意形成を図る過程のことを合意形成過程ともいう。

令和6年 月 自己評価表

年 名前

教師の「ファシリテーター力」自己評価表
～児童の「主体的な学び」の実現のために～

4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 まったくできなかった

①めあて、まとめ、評価の整合性がとれていたか。	4	3	2	1
②目標の達成に向かう発問であったか。	4	3	2	1
③児童が自ら考えたり、自ら取り組んだりできるような手立てがあり、有効であったか。	4	3	2	1
④児童の多様な見方・考え方を整理・分析できたか。	4	3	2	1
⑤児童主体の学びの活動を充実させることができたか。 (ICTの活用、ペアトーク、グループトークなど)	4	3	2	1
⑥児童の思考の手がかりになる、あるいは、児童にとって学習の流れが分かりやすい板書であったか。	4	3	2	1
⑦授業の終わりに今日の学びや自己の成長について振り返る時間を設けたか。	4	3	2	1

3 研究の仮説と推進方法

【研究仮説】

算数科を中心として教材研究を行い、授業のファシリテーターとしての力をつければ、児童の「主体的な学び」を導くことができ、目指す資質・能力を育むことができるだろう。

児童の「主体的な学び」の姿

- ・自分の考えを相手に伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- ・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。
- ・分かった点や分からなかった点を明確にし、次の学習につなげている。

【研究内容】

今年度は、特に導入の工夫、豊かな「学び合い」の展開、適用問題や振り返りの時間の確保に焦点化し、研究を進めていく。

①導入の工夫

- ・児童に「やってみたい」「考えてみたい」と思わせる問題提示
- ・前時との違いやこれまでの学習とのつながりに着目させる発問
- ・児童一人一人に本時の問題解決に向けて見通しをもたせる発問

②豊かな「学び合い」の展開

「対話的な学び」に向かう「学び合い」の必要性は、以下の2点である。

- ①「主体的な学び」に向かう姿が生まれてくること。
…自分の考えが相手に伝わり、相手がそれを受け入れてくれることに喜びを感じる。
- ②物事に対する「深い学び」が生まれやすくなること。
…自分1人で取り組むよりも多様な情報が入ってくる。
…相手に伝えようと自分で説明することで、自分の考えを確かにしたり、構造化したりすることにつながる。
…1人では生み出せなかった考えが生まれたり、新たな知が創造されたりする。

③適用問題や振り返りの時間の確保（35＋10）

児童自身が理解の程度や学びの成果を把握できるようにするとともに、教師自身が指導の成果、課題を見取りその後の指導に生かせるようにする。

◇授業構成…35分＋10分

本時の学習（35分）＋適用問題、振り返り（10分）

◇適用問題…学習内容を確認する振り返り（知識）（技能）

◇振り返り…現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り

（思考力・判断力・表現力等）

学習内容を自らとつなげ自己変容を自覚する振り返り

（学びに向かう力、人間性等）

例)・「これまでの学習を使って、解決することができた。」

・「いろいろな方法（図、表、グラフ、言葉、式等）で、答えを求めることができた。」

・「〇〇さんの考えのおかげで、新しい考えに気付くことができた。」

・「次の授業で～について調べてみたい。」

・「今日学習したことは～に使えるそうだ。」

R80 考えを取り入れた振り返り

・接続詞をつかって2文で書く。

○探究の課程の振り返りの視点および期待する児童の表現

	ふり返りの視点		資質・能力	期待する児童の表現（例）
①	分かったことできるようになったこと、 また、わからなかったこと、 できなかつたこと	自分の成長と課題の自覚	学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の勉強で～がわかりました。 ・今日の学習のポイントは～です。 ・～は難しかったです。次は、～できるようにしたいです。 ・～のところは分かったけれど、…のところがよくわからなかつたです。
②	今日の課題解決で役立った見方・考え方	解決に役立った見方・考え方	思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の●●という見方・考え方を使って、～を解決することができました。 ・いろいろな方法（図・表・グラフ・言葉、式等）を使って～して、…すると問題を解くことができました。 ・今日学習した〇〇は、～する時役立つと思いました。
③	友達の考えを聞いて思ったこと	対話的な学び	思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのやり方・考えを使うと、早く解くことができました。 ・〇〇さんの意見を聞いて、新しい考えに気づくことができました。 ・〇〇さんのようなやり方でも解けると分かりました。

④	自分の考えが変わったこと		学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは分からなかったけれど、～に気を付けるとできるようになりました。 ・はじめは～と思っていたけれど、〇〇さんの考えを聞いて、…と思いました。
⑤	今後の学習や他教科で生かしたいこと	実社会・他教科・今後の学習とのつながり	学びに向かう力・人間性	・今日学習した〇〇は、～する時役立つので、使ってみようと思いました。
⑥	生活に生かしたいこと		学びに向かう力・人間性	・〇〇で考えると、…の時便利だと思ったので使ってみようと思いました。
⑦	疑問に思ったこと	新しい課題の発見	学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、～になるのか不思議に思いました。 ・〇〇さんの考えについて、もっと詳しく知りたいです。
⑧	もっと知りたいこと	多面的・多角的な見方考え方 (別の方法で、違う見方で)	学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・次は、もっと～を考えたいです。 ・他に、～について知りたいです。 ・もっと複雑な問題や方法で考えてみたいです。

評価の仕方

	A	B	C
低学年	①～⑧の視点で、2文で振り返っている。	①～⑧の視点で振り返っている。	どの視点にも当てはまらない。
中学年	①～⑧の視点で、接続詞を使い2文で振り返っている。	①～⑧の視点で、2文で振り返っている。	どの視点にも当てはまらない。
高学年	①+②～⑧の視点で、接続詞を使い2文で振り返っている。	①～⑧の視点で、接続詞を使い2文で振り返っている。	どの視点にも当てはまらない。

・振り返りにおいては、全教育活動で行うことで、児童の学びがつながっていくように取り組む。

【検証の指標・目標】

- ア 標準学力調査の全国平均を上回る児童の割合 国語科70% 算数科70%
- イ 単元末テスト平均正答率（低学年90、中学年85、高学年80）
- ウ 児童の主体性アンケート平均 80%
- エ 振り返りの評価B以上の児童の割合 80%
- オ ファシリテーターとしての自己評価（全4回）及び管理職からの評価の平均 70%

5 研修の予定

期 日	教科・領域等	研 修 内 容	指 導 者
5月9日(木)	算数	指導案検討(ひまわり学級)	
5月16日(木)	算数	指導案検討(4年)	
6月10日(月)	算数	授業研(ひまわり学級)	三原市教育委員会 景山 敦子指導主事
6月21日(金)	算数	授業研(4年)	比治山大学 助教 村上 良太先生 三原市教育委員会 兼永指導主事
7月23日(火) ～26日(金)	算数	研究会、2学期授業研指導案作成日	
7月29日(月)	算数	研究会、2学期授業研指導案検討 各ブロックで検討する	
7月31日(水)	特別支援教育	特別支援教育研修(配慮の必要な児童への対応)	三原特別支援学校 特別支援Co.谷野 敬一先生
8月9日(金)	算数	研究会指導案検討	比治山大学 助教 村上 良太先生
8月19日(月)	算数	研究会、2学期授業研修正版指導案起案	
8月19日(月) ～22日(木)	道徳	道徳参観日指導案作成 指導案検討(各ブロック)、シュミレーション(各ブロック)	
8月23日(金) ～27日(火)	算数	研究会シュミレーション(各ブロック)	
10月18日(金)	算数	教育研究会(1年、3年、5・6年)	比治山大学 助教 村上 良太先生 三原市教育委員会 兼永指導主事
10月31日(木)	算数	授業研(たんぽぽ学級)	三原市教育委員会 景山 敦子指導主事
11月7日(木)	算数	授業研(2年)	三原市教育委員会 兼永指導主事
12月未定	算数	研究のまとめ	